

検査後がん未対応問題の対策について

報告者 病院名・所属：

氏名：

報告対象病院名：

- (1) 各モダリティについて、放射線科医による読影レポートが作成されている割合  
(胸部単純 Xp、CT、MRI、PET について、各検査の年間の実施件数とそれに対する放射線科医によるレポートの作成数(実施件数に対する割合)について、調査可能であれば、その数字を記載ください)
- (2) 採っている対策の内容  
(利用しているシステムの機能、対策に関わっているスタッフの職種、人数、対策に関わっている時間を含めて、現在採っている対策の内容を詳しく記載してください)
- (3) 対策のための体制作りの調整  
(対策のための組織体制を整備した際に、どの組織が主体となり、どの組織に対して協力要請をしたのか、その際留意したことなど、体制を整備する過程について記載してください)
- (4) 採っている対策の結果  
(例えば、未読レポートの月当たりの発生件数、主治医に問い合わせした月当たりの件数など、数字として示すことができる事項を中心に記載してください)
- (5) 採っている対策の欠点  
(対策の網をすり抜けるケースの可能性など)
- (6) 採っている対策の運用上の問題点  
(例えば、システムの機能不足、人手の不足、実行精度の問題などについて問題点となることを記載してください)
- (7) これから計画している対策、個人的に良いと思われている対策内容  
(まもなく実施する予定の計画から、実施されるかは不明であるが個人的に実行できると良いと思われている内容まで、実行予定レベルを含め、その内容について記載してください)
- (8) 良いと思われている対策が実行できない要因  
(もし(5)でお答えの対策を実行しようとした場合に障壁となる要因があれば、記載してください)